

校地、校舎等の施設設備  
及び学生の教育研究環境

## 校地、校舎等の施設設備及び学生の教育研究環境

### 1 校地、校舎等の施設設備及び学生の教育研究環境

教育研究活動に必要な施設設備は、大学設置基準及び本学の教育目的に沿って、整備しており、教育課程及び教育計画の教授に必要な施設設備を充足し、有効に活用している。

#### (1) 校地・校舎の整備

校地の面積は表1に示す。大学設置基準第37条の基準（収容定員学生一人当たりの校地面積：10㎡）を満たしている。校舎の面積は表2に示す。大学設置基準第37条の2（別表第3イ）の基準（工学部収容定数801人以上の場合の面積）を満たしている。

表1 校地の面積（収容定員1,440人）

	学生一人当たりの校地面積	校地面積
基準	10.0 ㎡/人	14,400 ㎡
校地面積	66.4 ㎡/人	95,564 ㎡

表2 校舎の面積（収容定員1,440人）

	校舎面積
基準	27,899.8 ㎡
校舎面積	30,619.0 ㎡

#### (2) 校舎施設

校舎は、10の講義棟及び10の実験実習棟から成り、各学科の授業教場を配置している。教場は、講義室42室、CAD室3室、製図室2室及び実験実習室35室を整備し、座学講義、実験実習、卒業研究等に利用している。

#### (3) 附属図書館

##### ア 図書館の施設

図書館は、本学の1階に書庫、カイトス（閲覧室）、2階に閲覧室、メディアルーム（視聴覚室）及び留学生交流センターを利用し、東京上野キャンパスは、書庫と閲覧室が同室としている。閲覧室は、国立情報科学研究所が示す大学図書館の用途別スペース配分に基づき、利用状況を勘案すると満足できるスペースを有している。閲覧座席数は、158席で大学設置審査基準要項細則（収容定員の10%以上）を満たしている。書庫については、蔵書数に対し、狭小になってきている。

##### イ 図書・学術資料等の整備

図書・学術資料等の整備は、本学の基本理念に沿って授業で得た知識の更なる向上及び新たな知識探究の支援を狙いとして行っている。

資料収集にあたっては、本学の専門に関わる工学系情報を体系的に収集することを目指し、教員の推薦、学生の要望、出版社等からの情報等により選書・購入している。

平成29年5月1日現在の図書等の所蔵数は68,778冊（本学51,345冊、東京上野キャンパ

## 第一工科大学

ス17,443冊)である。

### ウ 図書館の活用

図書館の利用については、4月と9月にガイダンスを行い、図書システムを説明し、学生が図書館資料を有効に活用できるよう、支障のないようにしている。また、学生の自習室としての役割もあり、鹿児島キャンパスでは、夜間はアルバイトの配置によって、利用できるように配慮している。

図書館の閲覧室は夜20時まで使用でき、十分なスペースを有している。

図書館に設置しているパソコンにより、学生はユーザーIDとパスワードによって単位の取得等の情報を得ることができるようにしている。

東京上野キャンパスについては、図書室を設け、約17,000冊の図書を整備しており、今後も蔵書を増していく。

### (4) 運動場及び体育館等

大学が管理している体育施設は、運動場2箇所(第1グラウンド：陸上競技場、第3グラウンド：球技場)、体育館が1棟、テニスコート2面である。これらの施設は、学園で共同使用しており、授業に関わる利用については、学校相互間の調整により支障なく運用している。

東京上野キャンパスでは、学校近傍に体育施設を保有していないため、部外の体育施設を時間割に基づき計画的に借用して授業を行っている。

平成28年度は、共通総合教育科目の体育実技は東京上野キャンパスから電車・徒歩で15分にある台東区柳北スポーツプラザのアリーナ(500平方メートル)を借用して実施している。

### (5) 情報センター

情報センターは2号館内に設置、本学の情報処理教育及びインターネット接続環境を含む情報処理システムを管理・運用・整備している。情報処理教育に供しているコンピュータは、各学科にその教育に必要な台数を配置して活用している。さらに情報センターには、特にインターネットを含むネットワーク上で利用されるサーバーを配置し、運用している。

### (6) 各学科等の情報関連設備

各学科に配備している情報教育用と研究用のパソコン台数を表3に示す。

表3 パソコンの所有台数(情報教育用+研究用パソコン) ※( )は上野で内数

設置場所	利用目的	パソコン台数
航空工学科	学科の卒業研究及び設計製図	45
情報電子システム工学科	情報・航空・機械系学科の基礎、 情報授業及び卒業研究	357 (263)
機械システム工学科	学科の卒業研究	25
自然環境工学科	学科の卒業研究	22

建 築 デ ザ イ ン 学 科	建築・自然環境系学科の基礎情報 授業及び卒業研究	68
-----------------	-----------------------------	----

コンピュータリテラシー、情報リテラシー、専門基礎CAD等の実習を学生1人に1台のコンピュータで履修できるよう整備している。学生の情報収集も同パソコンにて可能である。

また、各事務室・研究室・卒業研究室には、学内LANが整備され、教職員一人ひとりがネットワークで結ばれ、情報入手・交換が可能である。

東京上野キャンパスでは、情報工学ビジネスコースの教育・研究を目的としたPC台数は263台であり、すべてがインターネット回線に繋がっている。PCを使った授業や卒業研究では、学生一人1台のPCを使用して履修できるように整備している。昨年度より1号館131教室に学生2人に1台モニターを設置して講師の説明するプロジェクター画面が、学生各自が手元で見えるようにして学修効果を高める工夫を行っており、平成28年3月には、2号館221教室に、平成29年3月には同281教室にも拡充した。また、学生の情報収集も鹿児島と同様に可能である。

#### (7) AV (Audio Visual) 設備

AV設備（プロジェクター、OHC、VTR・DVD、LAN端末）は、全講義室(製図、CAD室等を除く。)の約50%（10講義室）に整備し、教育効果の向上を図っている。

東京上野キャンパスでは、1号館4教室、2号館6教室、3号館2教室と全講義室に整備している。

#### (8) クラブハウス

学生用クラブハウスは、運動系としてA棟、運動・文化系としてB棟を設けており、全クラブの部室に配分している。運動系が使用しているクラブハウスのA・B棟には、シャワールーム（男女用）を、B棟にはトレーニングルームを設置している。各部室等の管理は、「体育施設およびクラブハウスの使用管理規則」に則り教学課の統制の下、各クラブ等が担当している。

#### (9) 施設設備の適切な管理・運営

施設設備は、庶務課が管理を行い、学生の意見も採り入れながら教員と連携し、改善に努めている。

また、消防設備・電気設備・給排水衛生設備の保守・点検業務、警備業務や廃棄物処理など専門性が要求される業務は外部の専門業者に委託することにより、確実な保守管理を徹底し、教育研究活動を安全かつ円滑に行える環境の保持に努めている。

消防設備、電気設備など専門性が要求される業務は、それぞれの専門業者に委託し、定期的に点検・監視を行い、安全性を確保している。

学内の警備は機械警備の他、平日夜間および休日に警備会社の警備員が巡回を行うとともに非常時に対応できる体制をとっている。

図書館は平日18時まで、土曜日は15時まで、閲覧室は平日のみ20時まで開館し並びに学

習の場として提供している。

## 2 改善・向上方策（将来計画）

学内施設の老朽化に伴う問題点（耐震、雨漏り、漏電、シロアリ、トイレ異臭）、女子学生に配慮した施設（トイレ、更衣室）不足、体育館の老朽化等があり、改善すべき事項（雨漏り、漏電、トイレ異臭）、女子学生に配慮した施設（トイレ、更衣室）等については学生の要望を入れながら整備を進めている。

現在、学園内を走る県道新町線が都市計画道路として鹿児島県及び霧島市により高架化事業が計画され、学園本部との間で学園施設の移転・補償について調整中であり、上記計画と連動して施設の建替え・改修・耐震補強を実施する。

耐震診断を終了した施設の診断結果に基づき学園が予定している耐震補強工事予定（理事会で承認済み。）を表4に示す。

表4 耐震補強工事予定

対象施設	建築年月	耐震診断 ○：実施済 ×：未実施	工事の予定					
			H29	H30	H31	H32	H33	H34
1号館	S41.2	○					◎	
2号館	S43.2	○			◎			
3号館	S43.2	○（H28年解体済）						
5号館	S47.4	○（H30年解体予定）						
体育館	S42.2	×						

注) S...昭和、H...平成